

2022年11月11日

小野薬品工業株式会社
日鉄ソリューションズ株式会社

小野薬品と日鉄ソリューションズ、共同で統合データ利活用基盤「OASIS」を構築

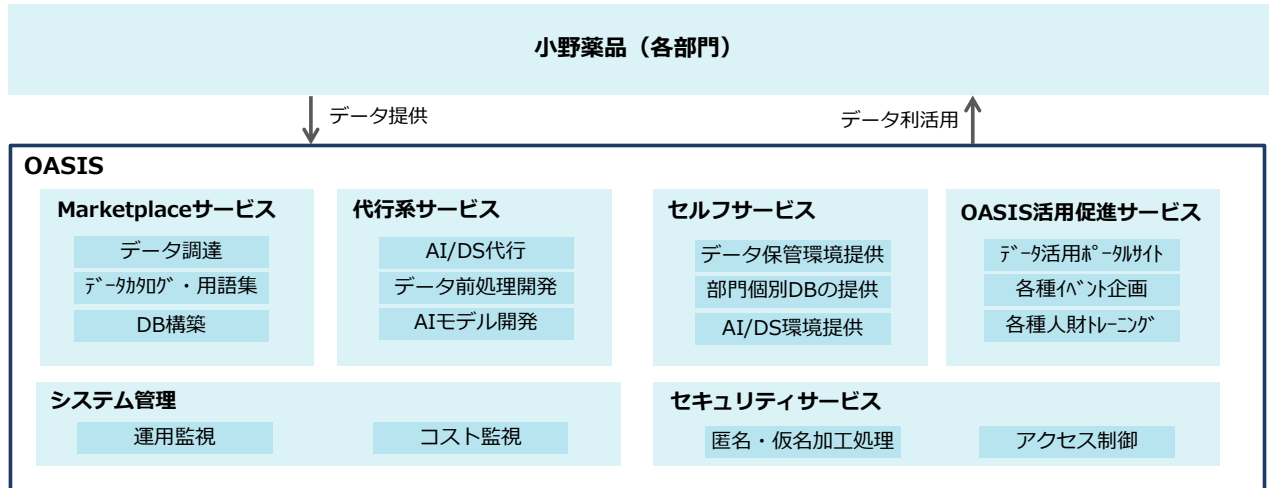
小野薬品工業株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：相良 暁、以下「小野薬品」）と日鉄ソリューションズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：森田 宏之、以下「NSSOL」）は、共同でデータドリブな統合データ利活用基盤「OASIS（Ono Advanced Scientific Insight Service）」を構築し、小野薬品が社内で保有するデータを一元管理して、全社的に利活用できるOASISの利用を開始しましたことをお知らせします。

OASISは、小野薬品の各部門が保有しているデータ、リアルワールドデータ（RWD）等を全社横断的に一つのプラットフォーム上で分析できる統合データ利活用基盤です。OASISの導入により、データを一元管理することができ、これまで以上に強固なデータガバナンス体制が実現できます。また、OASISは改正個人情報保護法に則り、厳格なデータセキュリティガイドラインの基に整備されています。これにより、個人情報を匿名加工情報や仮名加工情報（※1）などに加工することで安全にデータを利活用できる環境を整えることができました。個人情報を保護しつつ高度な人工知能（AI）分析が行え、新しいエビデンス創出に貢献していきます。

小野薬品は、これまで各本部（研究、開発、営業、生産・CMC、信頼保証等）が各々異なるシステムを用いて膨大で複雑なデータを保有していましたが、OASIS構築により各部門で保有する膨大なデータを全社横断的に一元管理し、利活用できるように体制を整備できました。今後、臨床現場で得られるRWDをはじめ、社内の各部門で蓄積された非臨床試験（実験・研究）データ、臨床試験データ、安全性情報等を一元管理し、全社で利活用することで迅速かつ効率的に革新的な新薬を創出できるよう取り組んでいきます。また、このOASISの構築により、データガバナンスとセキュリティの強化を図るとともに、リスクの低減およびコスト削減を期待しています。

NSSOLは、OASISの導入による早期効果発揮に向け、小野薬品とボトムアップでのデータ利活用の定着活動をはじめ、DX（デジタルトランスフォーメーション）推進の文化醸成と合わせたOASIS活用促進施策を企画・推進しています。NSSOLは、本施策の推進にあたり、豊富なDataRobot導入実績（※2）で培ったデータ分析業務・技術知見を活かし、OASISによるデータ利活用のためのアクションプランの検討、立案からPoC（概念実証）の実現に向けて小野薬品と協働していきます。

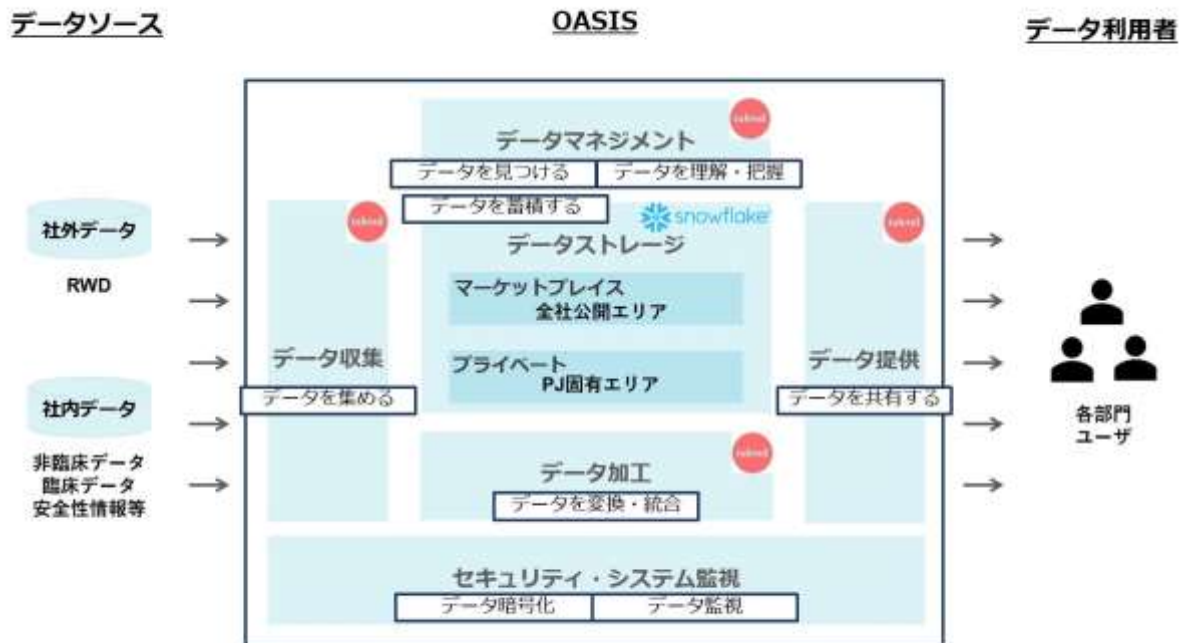
■ OASIS プロジェクトの全体像



■ 統合データ利活用基盤「OASIS」

OASIS は、NSSOL の提供する統合データマネジメントプラットフォーム「DATAOPTERYX (データオプテリクス)」(※3) を導入し、SaaS (※4) として提供される Snowflake および Talend を利用して迅速に構築されました。OASIS 導入に伴いデータガバナンスおよび個人のデータに関するセキュリティガイドラインの策定とそれらを支える組織・体制の早期整備を合わせて行うことでデータ活用の利便性向上とセキュリティリスクの低減を両立しています。

■ 統合データ基盤「OASIS」を活用したデータの流れ



小野薬品は、「病気と苦痛に対する人間の闘いのために」という企業理念の基に、OASIS の導入をはじめ、デジタル・IT による企業変革の実現を目指すとともに、イノベーションを推進し、革新的な新薬の創製に取り組んでいきます。また、DX の意志を文化に昇華させるコンセプトブランド「PLANETARY」(※5) を推進する NSSOL とともに、データ利活用の定着・促進に向けた活動等の DX を力強く推進する企業としての施策を続けていきます。

NSSOL はパーパス「ともに未来を考え 社会の新たな可能性を テクノロジーと情熱で切り拓く」の下、持続的に DX 推進に取り組む企業文化を備えるデジタル製造業の実現により社会に貢献していきます。

以上

- (※1) 匿名加工情報や仮名加工情報
(<https://www.nssol.nipponsteel.com/future/stories/trends201912-02.html>)
- (※2) NSSOL は 2016 年に DataRobot 社の日本国内最初の代理店となり、2020 年には同社と戦略的業務提携契約を締結。国内製薬企業 14 社（含む小野薬品）への導入をはじめ、幅広い業界に対して、Datarobot 社との連携を活かしたデータ利活用の支援実績を有しています。
- (※3) 「DATAOPTERYX（データオプテリクス）」は、企業データの収集・蓄積、更にユーザがそれらのデータの意味を正しく理解し、セキュアに活用できる環境を Snowflake/Talend 社製品のインテグレーションにより実現しています。これにより、ガバナンス強化と迅速な全社データ利活用を可能とし、お客様のデータドリブン経営の実現に寄与します。
導入事例 (https://www.nssol.nipponsteel.com/press/2022/20220530_110000.html)
- (※4) Software as a Service、ベンダーが提供するクラウド上のソフトウェアをインターネット経由で利用できるサービス。利用者側でのインフラ構築が最小限になるため、迅速な利用開始や利用状況の変化に対応が可能。
- (※5) PLANETARY 詳細 (<https://www.nssol.nipponsteel.com/ss/dx/>)

<本件に関する問い合わせ先>

小野薬品工業株式会社	日鉄ソリューションズ株式会社
広報部 TEL : 06-6263-5670 FAX : 06-6263-2950	産業ソリューション事業本部 E-mail : ind-ono-oasis-contact@jp.nssol.nipponsteel.com
	(報道関係お問い合わせ先) 管理本部 サステナビリティ推進部 広報・IR 室 E-mail : press@jp.nssol.nipponsteel.com

- ・ NS Solutions、NSSOL、NS（ロゴ）、PLANETARY、DATAOPTERYX は、日鉄ソリューションズ株式会社の商標または登録商標です。
- ・ 本文中の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。